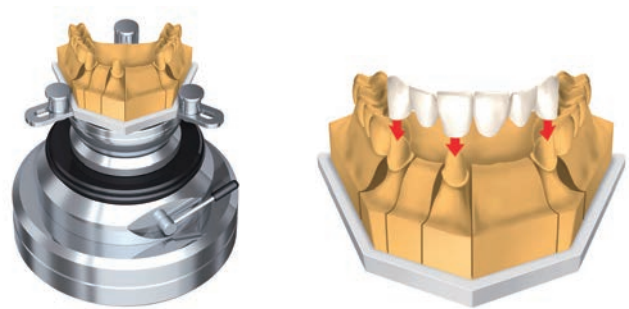


デンタル ラボラトリー マニュアル



ノーベルバイオケア社および生産拠点は、
環境マネジメントシステムISO 14001の認証を取得しています。

本書に記載されている術式を行う場合は、必ずノーベルバイオケアが提供するコンポーネントとインスツルメントを使用してください。

ノーベルバイオケアは、このマニュアルに記載された手法および術式に必要な変更を加える権利を留保します。

国や地域によっては、すべての製品を取り扱っていない場合があります。販売されている製品の種類や在庫の有無については、お近くのノーベルバイオケア社までお問い合わせください。

承認済 ISO 13485:2003

CE 0086

製品は予告なく変更されることがあります。著作権等のすべての権利はノーベルバイオケア社が有しています。
電子的、物理的形態、複写等のいかなる形態においても事前にノーベルバイオケア社の書面による承諾を得ない限り
本書の一部あるいは全部の転載、複写、複製、データベースへの取り込みは固くお断りいたします。

目次

はじめに	4
プロビジョナル・ソリューション	5
テンポラリー・アバットメントとシリンダー	5
インプラント支台の修復	6
プロセラ アバットメント ジルコニア エステティック	8
スナッピー・アバットメント 4.0/5.5	9
エステティック・アバットメント	11
マルチユニット・アバットメント	13
シングルトウス・アバットメント	15
ゴールドアダプト・エンゲージ	16
ゴールドアダプト・ノンエンゲージ	20
オーバーデンチャーの修復	22
ゴールドシリンダーバー	22
ボールアバットメント	24
付録	26
用語集	26
インプラントとアバットメントの連結面の直径	29
アバットメントの選択	30
上部構造作製手順	32
補綴用インスツルメントおよびドライバー選択ガイド	37
トルクガイド	38

はじめに

ノーベルバイオケアの製品をお選びいただきありがとうございます。弊社の製品は、臨床的に実証された歯科インプラントシステムにより、長期にわたって良好な修復実績を積み重ねてきました。

インプラント支台による修復では、専用に設計開発された、高い精度と互換性を有するインスツルメントとコンポーネントを使用します。

ノーベルバイオケアは既製のアバットメントおよびコンポーネントを通じ、様々な症例に対応するインプラント・ソリューションを提供しています。

様々な症例に対応

アバットメントおよびコンポーネントは、プロビジョナルからファイナル、単冠からフルアーチまで、幅広く対応します。

様々な外科的アプローチ

ヒーリング・アバットメントやカバースリューなど、即時にプロビジョナルを装着しない、遅延負荷の手順にも対応します。

多様なインプラント・プラットフォーム

アバットメントおよびコンポーネントは、ノーベルバイオケアの各種インプラントおよびコネクションにしっかりと適合し、機能するようにデザインされています。

しっかりと締結するセキュアフィット

ノーベルバイオケアのアバットメントはアバットメントスクリューが同梱されます(但し、プラスチック製テンポラリー・アバットメントには同梱されません)。アバットメントの種類、プラットフォームのサイズに応じて、トルクタイト表面加工の有無があり、しっかりと、安定した適合性を維持します。

インプラントとアバットメントの連結部に3種類のコネクション・タイプがあります。



エクスターナル・ヘキサゴン・コネクション

ブローネマルクシステム

ノーベルスピーディー・グルービー

- 薄い辺縁歯肉の症例での使用にも適応します
- アバットメント種類によって、6~12箇所のポジショニングが可能です



インターナル・コニカル・コネクション

ノーベルアクティブ

ノーベルテーパーDCC(コニカル・コネクション)

- ヘキサゴナル・インターロッキング(回転防止機構)を備えた密着性の高い連結部
- プラットフォームシフティングにより周囲組織を良好に維持し、自然な審美性を実現します
- エマージェンスプロファイルをサポートし、前歯部領域に有効なデザインです
- 正確な識別を可能にするカラーコードが付与されています
- アバットメント装着は、6箇所のポジショニングが可能です



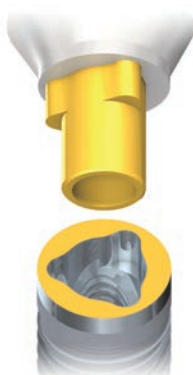
インターナル・トライ・チャネル・コネクション

ノーベルリプレイス・ストレート/テーパーD

リプレイスセレクト・ストレート/テーパーD

ノーベルスピーディー・リプレイス

- インプラントボディはストレートまたはテーパーDの2種類があります。
- アバットメント連結時の操作性が良く、感触が明確です
- 正確な識別を可能にするカラーコードが付与されています
- 3箇所のポジショニングが可能です



本マニュアルでは、技工手順を中心にスタンダード製品(既製のアバットメント)の説明をしています。ノーベルプロセラ製品については、プロセラ ネットワーク ラボへお問い合わせください。また、臨床手順の情報については、「ノーベルエステティック補綴修復マニュアル」および「ノーベルエステティック補綴関連製品カタログ」をご参照ください。

テンポラリー・アバットメントとシリンダー

プロビジョナル・レストレーションの作製に必要なノーベルバイオケアのテンポラリー・アバットメントとシリンダーは、チタン製またはプラスチック製よりお選びいただけます。

テンポラリー・アバットメント・ノンエンゲージおよびテンポラリー・シリンダー・マルチユニット用は、複数ユニット連結のスクリー固定のプロビジョナル作製のために使用します。テンポラリー・アバットメント・エンゲージは、単独歯のスクリー固定の修復、または、単独歯および複数歯のセメント固定のプロビジョナル作製のために使用します。

技工手順

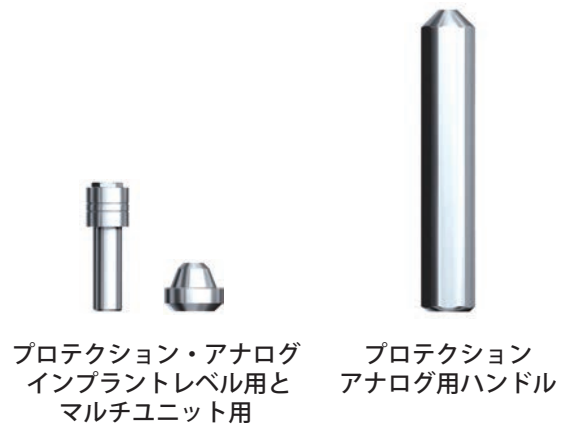
- 適切なレプリカを使用して主模型を作製し、対合歯と咬合させます。
- 技工用スクリーまたはガイドピンを使用して、適切なテンポラリー・アバットメントまたはシリンダーをレプリカに固定します。
- セメント固定のプロビジョナル作製の場合、クリアランスを確保するため、削合が必要なポストは長さをマークします。各支台の平行性を保つため、軸面の角度を調整する必要があります。
- アバットメントまたはシリンダーを模型から外し、適切なプロテクション・アナログを装着し、ディスクまたはバーを用いて調整を行います。
- アンダーカットの溝をすべて、適切な材料で塞ぐ必要があります。
- 仮のセメント固定ブリッジの強化にメタルフレームワークが必要な場合は、従来のクラウンやブリッジの技術を使用してください。
- 従来の技工技術でプロビジョナル・クラウン/ブリッジを作製します。

クリニカル・インフォメーション

- チタン製テンポラリー・アバットメント・エンゲージ/ノンエンゲージ（アバットメント・スクリー付き）は35 Ncmで締め付け、チタン製テンポラリー・シリンダー・マルチユニット用（補綴用スクリー付き）は15 Ncmで締め付けます。これらの製品に付属のスクリーはノーベルプロセラインプラントブリッジチタンに使用できます。
- プラスチック製テンポラリー・アバットメント/シリンダーはマニュアルで締め付けます。スクリーは付属していません。

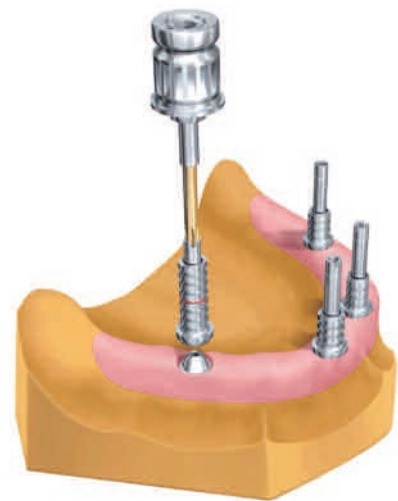


テンポラリー・アバットメントとシリンダー



プロテクション・アナログ
インプラントレベル用と
マルチユニット用

プロテクション
アナログ用ハンドル



インプラント支台の修復

インプラント支台の修復

ノーベルバイオケアのさまざまなアバットメントやコンポーネントをご使用いただくことにより、簡便で優れた審美性を実現します。単独歯、複数歯、無歯顎における、セメント固定やスクリュー固定など、あらゆる症例に対応できます。



セメント固定



プロセラ アバットメント ジルコニア エステティック		✓	✓		8ページ
スナッピー・ アバットメント 4.0/5.5		✓	✓		9ページ
エステティック・ アバットメント		✓	✓		11ページ
シングルトゥース・ アバットメント		✓			15ページ
ゴールドアダプト・ エンゲージ		✓	✓		16ページ



単独歯



複数歯



オーバーデンチャー



スクリュー固定による修復



マルチユニット・アバットメント			✓		13ページ
ゴールドアダプト・エンゲージ		✓			16ページ
ゴールドアダプト・ノンエンゲージ			✓		20ページ

オーバーデンチャー



ゴールドシリンダーバー				✓	22ページ
マルチユニット・アバットメント・シリンダーバー				✓	13ページ
ボールアバットメント				✓	24ページ

ノーベル ロケーター・アバットメントの手順に付きましては、「ノーベル エステティック 補綴 修復 マニュアル」または「ノーベル ロケーター・アバットメント マニュアル&カタログ」をご参照ください。



インプラント支台の修復

プロセラ アバットメント ジルコニア エステティック/
ジルコニア アバットメント・ノーベルアクティブ

ジルコニア製

適用

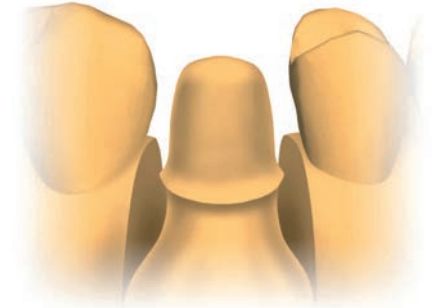
- セメント固定による、単独歯または複数歯のインプラント修復に適用します。
- アバットメントは1回のご使用に限ります。

プロセラ アバットメント ジルコニア エステティックおよびジルコニア アバットメント・ノーベルアクティブは、さまざまなエマーゼンス・プロファイルを有する、ストレートまたは角度付の既製のアバットメントです。全ての部位に適用します。



1. 模型

- 従来の方から従って、印象を採得します。
- 超硬石膏またはエポキシを注入し主模型を作製します。
- 通法に従い、支台模型を作製します。



補綴物の選択肢

ノーベルプロセラ クラウン

ノーベルプロセラ ブリッジ ジルコニア

従来のタイプのクラウンやブリッジの補綴物（以下を参照）

2. 補綴物

- クラウンやブリッジを作製するように、標準的な技術を使用して、補綴物のフレームワークを作製します。
- 補綴物を完成し、最終的に歯科医師へ送ります。

注意事項：プロセラ アバットメント ジルコニア エステティックを形成する場合には、インプラント・レベルから高さ3 mmまでは、セラミック材の厚さを最低0.9 mmは維持してください。



スナッピー・アバットメント 4.0/5.5 チタン製

適用

- セメント固定における、単独歯または複数歯のインプラント修復に適用します。

エクスターナル・
コネクション



インターナル・
コニカル・
コネクション

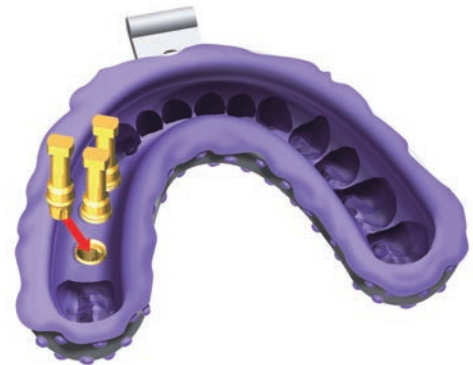


インターナル・
トライ-チャンネル・
コネクション



1. 模型

- スナッピー・アバットメント用の印象用コーピングを取り付けた、印象を受け取ります。スナッピー・アバットメント用のアバットメント・レプリカを装着して、模型を作製します。
- 印象用コーピングに装着したアバットメント・レプリカの位置を確認し、3本の溝が正しい位置にあることを確認します。
- 歯肉付きの主模型を作製します。



補綴物の選択肢

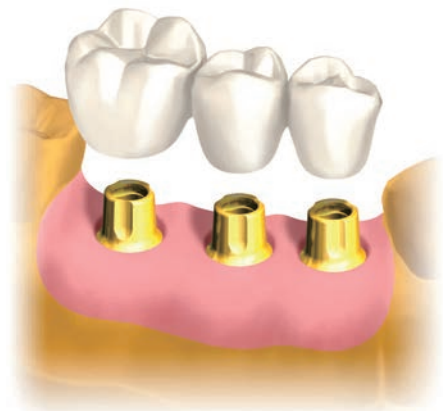
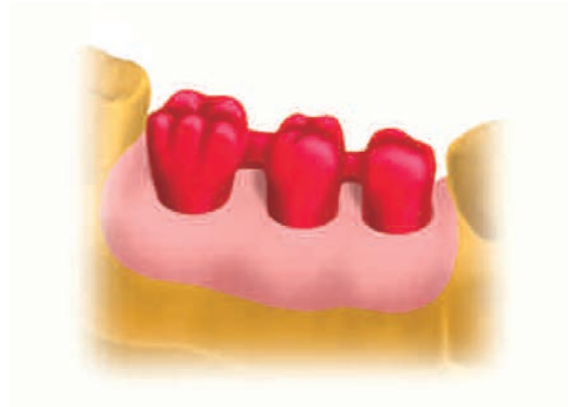
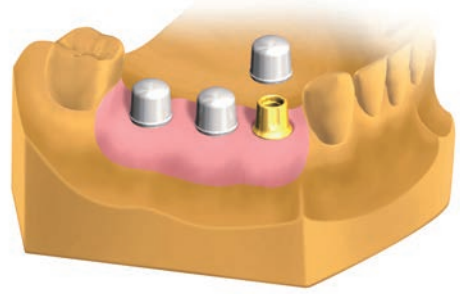
ノーベルプロセラ クラウン

ノーベルプロセラ ブリッジ

テンポラリーコーピング プラスチック・スナッピー・アバットメント用
クラウンやブリッジなどの標準的な補綴物（以下を参照）

2. 補綴物

- テンポラリーコーピングプラスチックをアバットメント上に配置します。単独歯の修復には、“エンゲージ”を使用します。複数歯の修復には、“ノンエンゲージ”を使用します。
- テンポラリーコーピングプラスチックの周囲にフレームワークをワックスアップします。
- クラウンやブリッジを作製するように、標準的な技術を使用して、補綴物のフレームワークを作製します。
- 補綴物を完成させ、最終的に歯科医師へ送ります。



エスティック・アバットメント

チタン製

適用

- セメント固定における、単独歯または複数歯のインプラント修復に適用します。

エスティック・アバットメントは、カラー部分がスキャロップ・マージンにデザインされたアバットメントで、自然な軟組織のカントゥアを形成するよう、カラーの高さも豊富です。

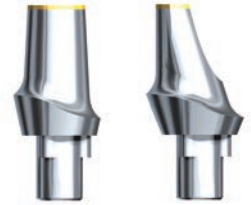
以下の説明は、ストレートのエスティック・アバットメントに基づいていますが、エスティック・アバットメント15°にも同じ手順が使用されます

エクスターナル・
コネクション



ストレート 15°

インターナル・
トライ-チャンネル・
コネクション



ストレート 15°

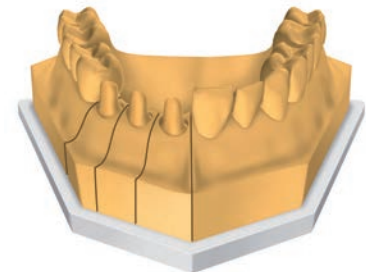
インターナル・
コニカル・
コネクション



ストレート 15°

1. 模型

- インプラントレベルの印象用コーピングを取り付けた印象を受け取ります。
- 超硬石膏またはエポキシを注入し、主模型を作製します。
- ストレートまたは角度付きのアバットメントを選択し、インプラントレプリカに取り付けます。



補綴物の選択肢

ノーベルプロセラ クラウン

ノーベルプロセラ ブリッジ

テンポラリーコーピング プラスチック・エスティック・アバットメント用
クラウンやブリッジなどの標準的な補綴物（以下を参照）

マルチユニット・アバットメント

チタン製

適用

- スクリュー固定による複数歯の修復に適用します。
- 容易に取り外しできることが望ましい場合に使用します。

ストレート・マルチユニット・アバットメント

角度の修正を必要としない場合、ストレートタイプのマルチユニット・アバットメントを使用します。

ザイゴマ用マルチユニット・アバットメントは、ブローネマルクシステムのザイゴマ・インプラントで使用できます。

角度付マルチユニット・アバットメント

角度付マルチユニット・アバットメントは、インプラントの埋入方向が好ましくなく、通常のコンポーネントを使用すると補綴物のスクリュー・アクセス・ホールが適切でない場合に使用します。

角度付マルチユニット・アバットメント17°はNPおよびRP用、角度付マルチユニット・アバットメント30°はRP用があります。また、ザイゴマ用角度付マルチユニット・アバットメント17°は、ブローネマルクシステムのザイゴマ・インプラントで使用できます。

注意事項: ザイゴマ用マルチユニット・アバットメントについても、通常のマルチユニット・アバットメントと同じ技工用コンポーネントを使用してください。

エクスターナル・コネクション



ストレート 17°/30°

インターナル・トライチャンネル・コネクション



ストレート 17°/30°

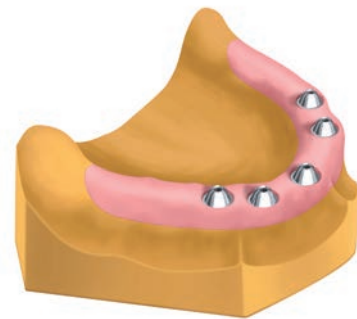
インターナル・コニカル・コネクション



ストレート 17°/30°

1. 模型

- アバットメント・レプリカ・マルチユニット用を使用して、模型を作製します。
- 印象コーピングに装着したアバットメント・レプリカの位置を確認します。
- 歯肉付きの主模型を作製します。



補綴物の選択肢

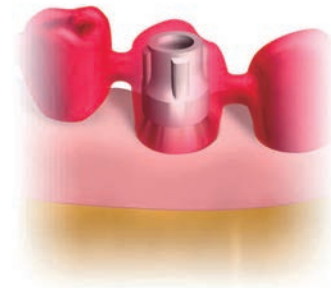
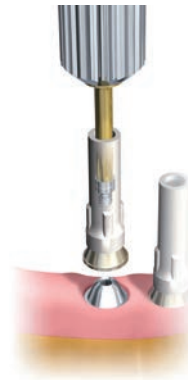
- ノーベルプロセラ インプラント ブリッジ
- ゴールドシリンダー・マルチユニット用 (以下を参照)

2. 補綴物

- ガイドピンまたは技工用スクリューを使って、ゴールドシリンダー・マルチユニット用をアバットメント・レプリカに連結します。
- 必要に応じて、プラスチック・スリーブの高さや角度を調整します。短くする場合、ゴールドシリンダーがある部分まで、短くすることができます。
- ゴールドシリンダー周囲にフレームワークのワックスアップをします。

注意事項：ゴールドシリンダーは非酸化合金から作られています。ゴールドシリンダーに直接ポーセレンを前装すると、亀裂が生じる可能性があります。ゴールドシリンダーの全体にワックスアップします。最低限必要な厚みは0.5 mmです。 casting後は0.3 mmまで減らすことができます。

- 必要に応じて模型からフレームワークを取り外し、技工用スクリューを使ってプロテクション・アナログを連結して、ゴールドシリンダーのベースの周囲を適切な範囲で慎重にワックスアップしてください。
- クラウンやブリッジを作製する標準的な技術を使用して、補綴物のフレームワークを作製します。
- 補綴物を完成し、最終的に歯科医師へ送ります。



ゴールドシリンダーに関する推奨事項：

融点：1400 – 1490°C/2550 – 2720°F.

熱膨張係数：12µm/m*°K.

推奨される鑄造合金：

鑄造用金合金：ハイプレシャス合金 (Au+Pt metal 75%以上)、標準ISO1562タイプ4

陶材焼付用合金：ハイプレシャス合金 (Au 75%以上)、標準ISO/DIS 9693、NIOMタイプA

ろう付けの範囲は800 – 890°C/1472 – 1634°Fです。

シングルトゥース アバットメント/
 エステティック・アバットメント・
 ノーベルアクティブ ナロープロファイル
 チタン製

適用

- セメント固定による隣在歯間径が限局されている症例で、単独歯のインプラント修復に適用します。

インターナル・
コニカル・
コネクション



インターナル・
トライ-チャンネル・
コネクション



1. 模型

- インプラント・レプリカを取り付けた、インプラントレベルの印象を受け取ります。
- 印象内のインプラントレベルの印象用コーピングに接続したインプラント・レプリカの位置を確認します。
- 歯肉付きの主模型を作製します。
- インプラント・レプリカにシングルトゥース・アバットメントを取り付け、技工用スクリューで固定します。



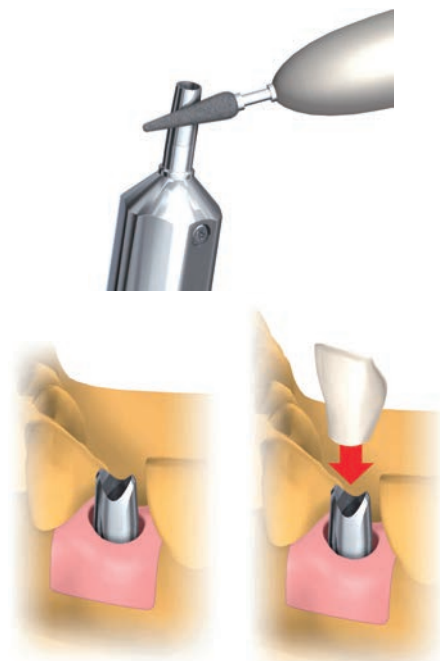
補綴物の選択肢

ノーベルプロセラ クラウン

クラウンやブリッジなどの標準的な補綴物（以下を参照）

2. 補綴物

- シングルトゥース・アバットメントを形成するためには、酸化アルミニウム製インスツルメントを使用します。また、アバットメントのマーヅンを保護するには、技工用プロテクション・アナログを使用します。パターン・レヅンを使用してヅグを作製すると、口腔内に形成したアバットメントを正しく配置する際に便利でス。
- クラウンやブリヅを制作する標準的な技術を使用して、補綴物のフレームワークを作製します。
- 補綴物を完成し、最終的に歯科医師へ送ります。



インプラント支台の修復

ゴールドアダプト・エンゲージ

適用

- スクリュー固定による単独歯の修復に適用します。
- セメント固定による単独歯/複数歯の修復に適用します。
- 角度修正を行わなくてもスクリュー・アクセス・ホールが臼歯部の咬合面または前歯部の舌側基底結節部を通る症例に適用されます。
- 咬合および/または隣在歯間のスペースが限られている場合に適用されます。

ゴールドアダプト・エンゲージは、次の2通りの使用方法に適しています。

- セメント固定による修復用のカスタム・アバットメント（以下を参照）
- スクリュー固定による単独歯修復（18ページを参照）

エクスターナル・
コネクション



インターナル・
トライチャンネル・
コネクション



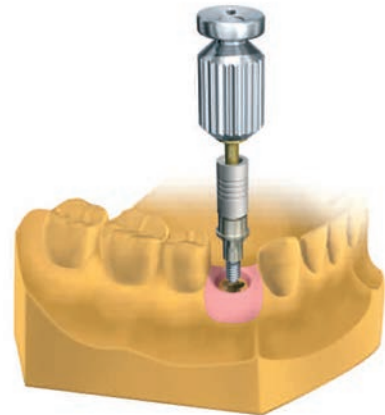
インターナル・
コニカル・
コネクション



セメント固定による修復

1. 模型

- インプラント・レプリカを取り付けた、インプラントレベルの印象を受け取ります。
- 印象内のインプラントレベルの印象用コーピングに接続したインプラント・レプリカの位置を確認します。
- 歯肉付きの主模型を作製します。
- ゴールドアダプトをインプラント・レプリカに装着し、技工用スクリューで固定します。



補綴物の選択肢

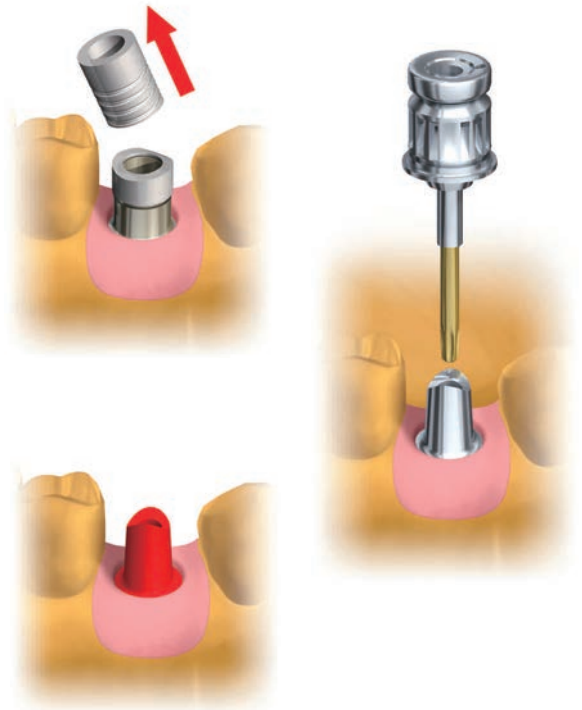
ノーベルプロセラ クラウン

クラウンやブリッジなどの標準的な補綴物

2. アバットメントの調整

- 希望の高さまでプラスチック・スリーブを短くします。両面ダイヤモンド・ディスクの使用が推奨されます。
- 高い審美性と維持力を有する補綴物を作製するために、ゴールドアダプトの周囲にフレームワークのワックスアップをします。
補綴物を連結する場合は、アバットメントの平行性を確認してください。
- 標準的な技術を使用して、最終アバットメントを作製します。
- 仕上げ用砥石とラバーホイルでアバットメントを仕上げ、歯科医師へ送ります。

注意事項：アバットメントをスキャンしてノーベルプロセラ クラウンを作製する場合は、輪郭とフィニッシュラインが滑らかであることを確認してください。

**合金に関する推奨事項**

ゴールドアダプト：

融点：1400 – 1490°C/2550 – 2720°F.

熱膨張係数：12μm/m*°K.

推奨される鋳造合金：

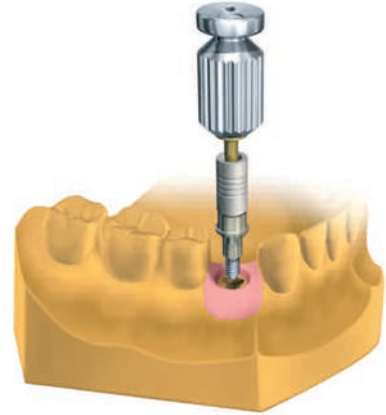
鋳造用金合金：ハイレシヤス合金（Au+Pt metal 75%以上）、標準ISO1562タイプ4
ろう付けの範囲は800 – 890°C/1472 – 1634°Fです。

陶材焼付用合金：ハイレシヤス合金（Au 75%以上）、標準ISO/DIS 9693、NIOMタイプA
ろう付けの範囲は800 – 890°C/1472 – 1634°Fです。

スクリュー固定による単独歯修復

1. 模型

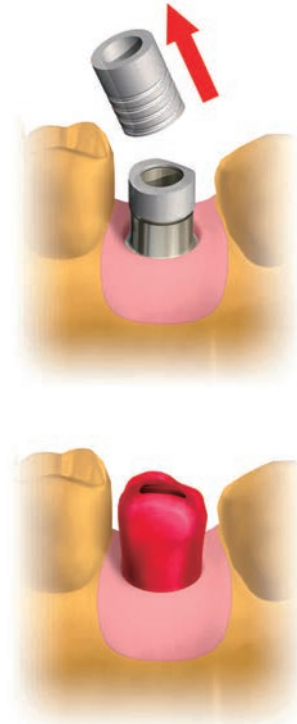
- インプラント・レプリカを取り付けた、インプラントレベルの印象を受け取ります。
- 印象内のインプラントレベルの印象用コーピングに接続したインプラント・レプリカの位置を確認します。
- 歯肉付きの主模型を作製します。
- ゴールドアダプトをインプラント・レプリカに装着し、技工用スクリューで固定します。



2. 補綴物

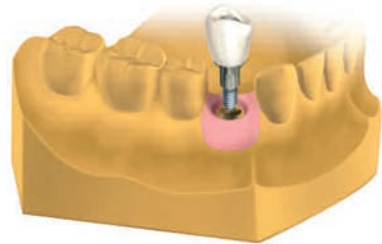
- 希望の高さまでプラスチック・スリーブを短くします。両面ダイヤモンド・ディスクの使用が推奨されます。
- ゴールドアダプトの周囲にフレームワークのワックスアップをします。

注意事項：ゴールド部分は非酸化合金から作られています。ゴールド部分に直接ポーセレンを前装すると、亀裂が生じる可能性があります。ゴールド部分全体にワックスアップします。最低限必要な厚みは0.5 mmです。鑄造後に0.3 mmまで減らすことができます。



2. 補綴物の続き

- クラウンやブリッジを作製するように、標準的な技術を使用して、補綴物のフレームワークを作製します。
- 補綴物を完成し、最終的に歯科医師へ送ります。



合金に関する推奨事項

ゴールドアダプト：

融点：1400 – 1490°C/2550 – 2720°F

熱膨張係数：12μm/m*°K.

推奨される鋳造合金：

鋳造用金合金：ハイプレシャス合金（Au+Pt metal 75%以上）、標準ISO1562タイプ4
ろう付けの範囲は800 – 890°C/1472 – 1634°Fです。

陶材焼付用合金：ハイプレシャス合金（Au 75%以上）、標準ISO/DIS 9693、NIOMタイプA
ろう付けの範囲は800 – 890°C/1472 – 1634°Fです。

インプラント支台の修復

ゴールドアダプト・ノンエンゲージ

適用

- スクリュー固定による、複数歯のインプラント修復に適用します。
- 咬合スペースが限られている場合に使用します。
- 角度修正を行わなくても、スクリュー・アクセス・ホールが臼歯部の咬合面または前歯部の舌側基底結節部を通る症例。
- インプラント間の傾斜角が互いに40°未満である場合に使用します。

エクスターナル・コネクション



インターナル・コニカル・コネクション

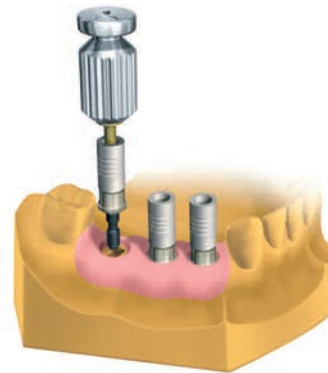


インターナル・トライ-チャンネル・コネクション



1. 模型

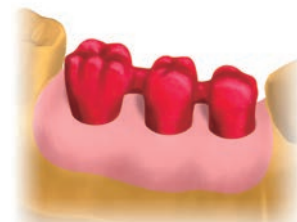
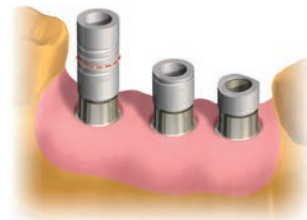
- インプラント・レプリカを取り付けた、インプラントレベルの印象を受け取ります。
- 印象内の印象用コーピングに接続したインプラント・レプリカの位置を確認します。
- 歯肉付きの主模型を作製します。
- 技工用スクリューを用いて、ゴールドアダプトをインプラント・レプリカに装着します。



2. 補綴物

- 希望の高さまでプラスチック・スリーブを短くします。両面ダイヤモンド・ディスクの使用が推奨されます。
- ゴールドアダプトの周囲にフレームワークをワックスアップします。

注意事項: ゴールド部分は非酸化合金から作られています。ゴールド部分に直接ポーセレンを前装すると、亀裂が生じる可能性があります。ゴールド部分全体にワックスアップします。最低限必要な厚みは0.5 mmです。鑄造後に0.3 mmまで減らすことができます。



補綴物の続き

- クラウンやブリッジを作製するように、標準的な技術を使用して、補綴物のフレームワークを作製します。
- 補綴物を完成し、最終的に歯科医師へ送ります。



合金に関する推奨事項

ゴールドアダプト：

融点：1400 – 1490°C/2550 – 2720°F

熱膨張係数：12µm/m*°K.

推奨される鑄造合金：

鑄造用金合金：ハイレシヤス合金（Au+Pt metal 75%以上）、標準ISO1562タイプ4
ろう付けの範囲は800 – 890°C/1472 – 1634°Fです。

陶材焼付用合金：ハイレシヤス合金（Au 75%以上）、標準ISO/DIS 9693、NIOMタイプA
ろう付けの範囲は800 – 890°C/1472 – 1634°Fです。

ゴールドシリンダーバー

適用

- 無歯顎に適用します。
- 広範囲におよぶ骨または軟組織の欠損に使用します。
- 患者の清掃能力に問題がある場合に使用します。
- 軟組織のサポートが必要な場合に使用します。
- 発音上の懸念がある場合に使用します。

バーアタッチメント・オーバードンチャーは、インプラント支持のキャストに取り付けられたアタッチメントによって維持される従来型のアクリル義歯です。この義歯は、粘膜支持型もしくはインプラント支持型のどちらかになります。

エクスターナル・
コネクション



インターナル・
トライチャンネル・
コネクション



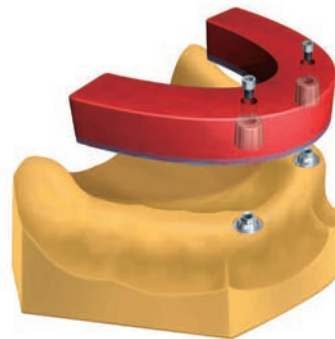
ゴールドシリンダーバー
インプラントレベル



ゴールドシリンダーバー・
マルチユニット用

1. 模型

- レプリカを取り付けた、インプラントレベルまたはアバットメントレベルの印象を受け取ります。
- 印象内の印象用コーピングに接続したレプリカの位置を確認します。
- 主模型を作製します。
- 技工用スクリューまたはガイドピンを使って、ゴールドシリンダーをレプリカに連結し、締め付けます。咬合床を作製し、ゴールドシリンダーを装着し、咬合採得のために歯科医師に送ります。



2. 補綴物

- ワックスまたはレジンでバーをシリンダーに装着します。レプリカをゴールドシリンダーに締め付け、ろう付け用埋没材に埋め込みます。
- ゴールドシリンダーにバーをろう付けします。
- バーをブロックアウトし、人工歯を排列した蠟義歯を作製します。試適のために歯科医師に送ります。



3. 最終手順

- バーの下とゴールドシリンダーの周囲をブロックアウトします。アタッチメントをオーバーデンチャーに固定します。
- 標準的な義歯作製手順を用いて、義歯を完成させ、仕上げます。最終的に義歯を歯科医師へ送ります。



ゴールドシリンダーバー/ゴールドシリンダーバー・マルチユニット用：
ろう付けの範囲は800 – 890°C/1472 – 1634°Fです。

ボールアバットメント

適用

- 無歯顎に使用します。
- 広範囲および骨または軟組織の欠損症例に適用します。
- 患者の清掃能力に問題がある場合に使用します。
- 軟組織のサポートが必要な場合に使用します。
- 発音上の懸念がある場合に使用します。
- バーを用いて連結できないほどインプラントの配置が後方である場合に使用します。
- インプラント間の角度の違いが30°までの場合に使用できます。

ボールアバットメント・オーバーデンチャーは、インプラントに直接固定され、アバットメントによって維持される粘膜支持タイプの従来型オーバーデンチャーです。

エクスターナル・
コネクション

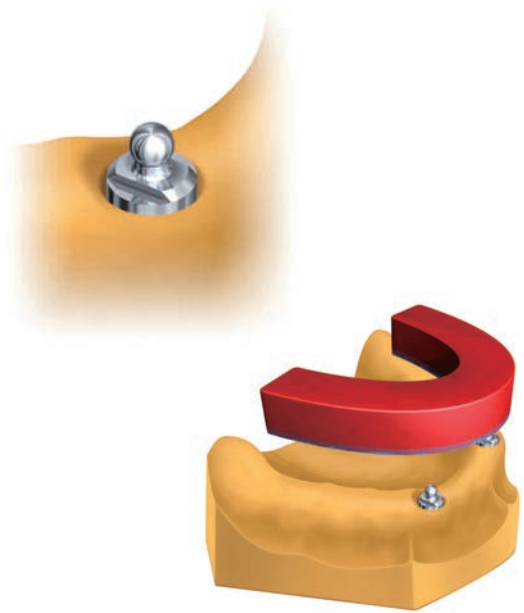


インターナル・
トライチャンネル・
コネクション



1. 模型

- アバットメント・レプリカ・ボールアバットメント用を取り付けた、アバットメントレベルの印象を受け取ります。
- 印象面のレプリカを確認します。
- 超硬石膏またはエポキシを注入し、主模型を作製します。
- アバットメント・レプリカの周囲をブロックアウトし、咬合床を作製します。咬合採得のために歯科医師に送ります。



2. 補綴物

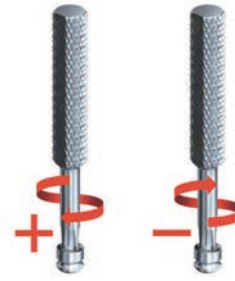
- 人工歯を排列した蝟義歯を作製します。



3. 最終手順

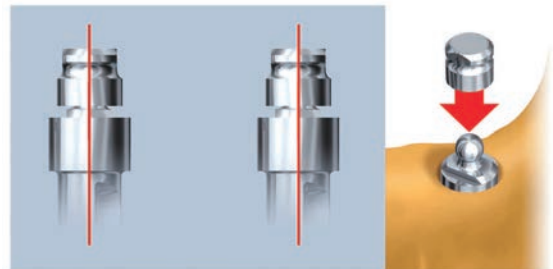
- レプリカにボールアバットメントのゴールドキャップを装着し、処理中にアクリリックレジンが入らないようにゴム製のセパレータまたはシリコンでゴールドキャップ内部をブロックアウトします。さらに維持力が必要な場合は、アクチベーター・ドライバーを使ってゴールドキャップを時計回り（強める）または反時計回り（弱める）に回して調整します。

注意事項: 1回転以上回さないでください。



アクチベーター・ドライバーを使用して、ゴールドキャップの維持力を調整します。

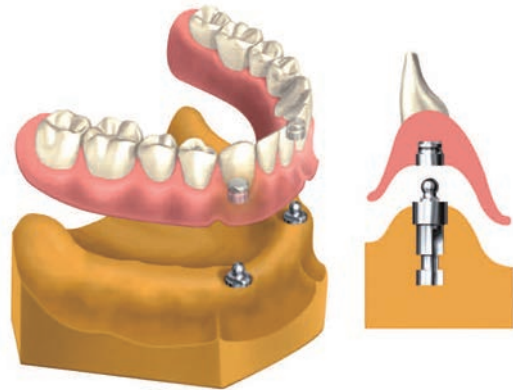
- 同一平面上で平行となるようにゴールドキャップを配置します。ゴールドキャップが傾かないよう、透明なアクリルレジンを使います。キャップ底部から歯槽堤までをブロックアウトします。



- 標準的な技術を用いて義歯を作製します。

注意事項: 口腔内でゴールドキャップの重合やレジンボンディングが行われる場合は、技工所で最終的な義歯の重合を行う際に、ゴールドキャップの代わりにデュプリケイティングエイド（赤い部品）を使用します。（デュプリケイティングエイドにワセリンを薄くコートすると、後で義歯から取り除きやすくなります。）これらのコンポーネントは、義歯を歯科医師に送る前に取り除きます。

- 標準的な義歯手順を用いて、義歯を完成させ、仕上げます。最終的に義歯を歯科医師へ送ります。



用語集

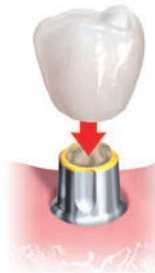
アバットメント — プロビジョナルまたは最終の補綴物を支持し、維持するために、インプラント上部にスクリューで固定されるコンポーネント。

アバットメントレベルの印象 — 従来の技術やアバットメントレベル印象用コーピングを用いて採得されたアバットメントの印象。アバットメントの位置と形態を患者の口腔から主模型にトランスファーするのに用います。

アバットメントスクリュー — アバットメントをインプラントに固定し、最終的な位置で締め付けるスクリュー。技工所では、アバットメントスクリューを傷つけないように技工用スクリューを使います。

セメント固定による補綴物 — アバットメントにセメント固定される補綴物。

即時負荷 — 外科手術後即時に仮または最終の補綴物を装着し、咬合負荷をかけること。

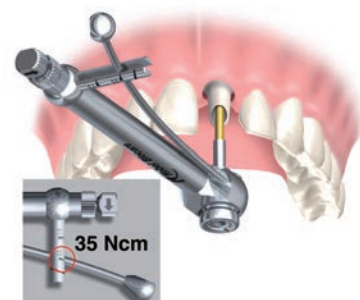
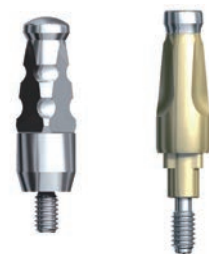


インプラントレベルの印象 — インプラント・レプリカを使用して採得される印象。インプラントの位置を患者の口腔から主模型にトランスファーするのに用います。

印象用コーピング — 印象を採得する際に、インプラントまたはアバットメントに装着して用いる製品。印象内に残すタイプと口腔内に残すタイプがあり、口腔内に残す場合には、口腔内から取り出して印象内に再配置する必要があります。

補綴用トルクレンチ — アバットメントや補綴物を希望のトルク値まで締め付けるために使うインスツルメント。

最終アバットメント — 患者の口腔内で最終的に使用するために設計されたアバットメント。



レプリカ（アバットメントまたはインプラント）－ 正確な模型を作製するために、印象を採得した後に印象用コーピングに装着する製品。

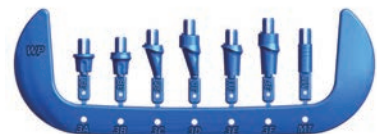
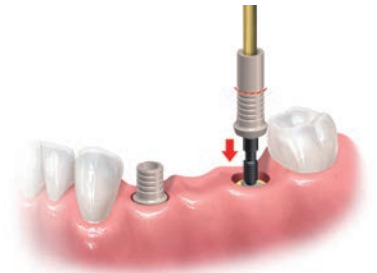
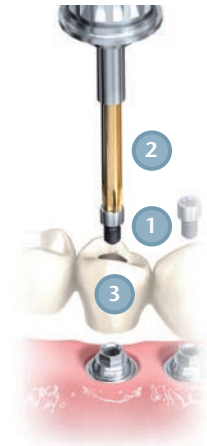
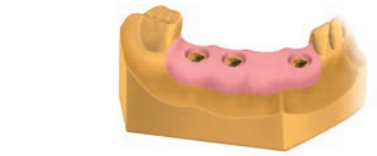
補綴用スクリュー（1）－ 補綴物をアバットメントに固定し、最終的な位置で締め付けるスクリュー。技工所では、スクリューを傷つけないように、代わりに技工用スクリューを使います。

マシンドライバー/手用ドライバー・ユニグリップ（2）－ アバットメントや補綴用スクリューを固定するのに用いるドライバー。

スクリュー固定による補綴物（3）－ アバットメントにスクリュー固定される補綴物。

テンポラリー・アバットメントおよびシリンダー－ 仮の補綴物を作製するのに用いるアバットメントおよびシリンダー。最終補綴物を固定する前に取り除かれます。

トライイン・アバットメント－ 患者に適したサイズと形状のアバットメントを選択するのに用います。これらのアバットメントはプラスチック製で、滅菌後再利用できます。



インプラントとアバットメントの連結面の直径

ノーベルバイオケアの製品は、治療計画が進めやすいよう、「プラットフォーム・コンセプト」に基づいて構成されています。




ナロー・プラットフォーム (NP) は、隣接歯間が限局されている症例や、顎堤頂が細い症例の治療に使用します。

レギュラー・プラットフォーム (RP) は、前歯部単独歯欠損から無歯顎症例までの幅広い治療に使用します。

ワイド・プラットフォーム (WP) は、大きな負荷が予想される状況や、広い直径のインプラント/アバットメントが好ましい場合などに使用します。

6.0プラットフォーム (6.0) は、大きな負荷が予想される状況や、さらに広い直径のインプラント/アバットメントが好ましい場合などに使用します。

エクスターナル・コネクション (ブローネマルクシステム シリーズなど)

-  NP \varnothing 3.5 mmの連結面
-  RP \varnothing 4.1 mmの連結面
-  WP \varnothing 5.1 mmの連結面





インターナル・コネクション (リプレース シリーズ)

-  NP \varnothing 3.5 mmの連結面
-  RP \varnothing 4.3 mmの連結面
-  WP \varnothing 5.0 mmの連結面
-  6.0 \varnothing 6.0 mmの連結面






インターナル・コニカル・コネクション (ノーベルアクティブ、ノーベルテーパーD CC)

-  NP \varnothing 3.5 mmの連結面
-  RP \varnothing 3.9 mmの連結面



*上記の他に、ノーベルアクティブ 3.0インプラントが上顎の側切歯および下顎の中切歯または側切歯の単独歯の修復用にあります。

ノーベルダイレクト・ポステリア (1ピース型インプラント)

-  RP \varnothing 4.3 mm
-  WP \varnothing 5.0 mm
-  6.0 \varnothing 6.0 mm



*RP \varnothing 3.75および RP \varnothing 4のインプラントにはRP補綴コンポーネントをお使いください。

**ノーベルダイレクト・ポステリアはスナッピー・アバットメント用補綴コンポーネントをお使いください。

アバットメントの選択

最終補綴物が歯科医師や患者の審美的および機能的要求に応えるためには、適切なアバットメントの選択が重要です。歯科医師がアバットメントを選択し、アバットメントレベルの印象を技工所に送る場合もあります。多くの場合、アバットメントの選択を容易にするために、インプラントレベルの印象を採得します。

アバットメントを選択する際、次のことを検討する必要があります。

軟組織/カフの高さ

インプラント・レプリカ周囲の軟組織の深さを測定し、適切なカフの高さを決めます。カフの高さは、審美性あるいは衛生上の重要性によって選ぶことができます。

クリアランス

選択したアバットメントの高さに加えて、鑄造や前装材のために補綴コンポーネントの上に1.5~2 mmのスペースが必要です。

隣接歯間スペース

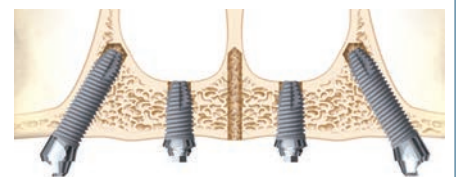
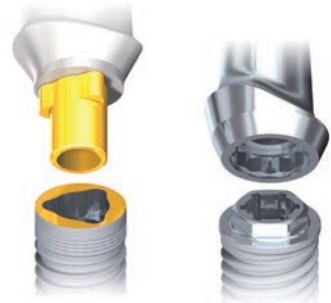
隣接歯間のスペースおよび希望のエマージェンス・プロファイルによってアバットメントの選択やカラーの高さを決定することができます。

角度付き

各インプラントの角度によって、ストレートまたは角度付きのどちらのアバットメントを使用するか、あるいは個別にデザインしたアバットメントを必要とするかが決まります。

修復タイプ

ノーベルバイオケアのインプラントシステムのアバットメントには、特に単独歯または複数歯の修復を目的として設計されたものがあります。



セメント固定

インプラントのセメント固定による修復は、天然歯支台のクラウンやブリッジによる修復と同様の方法で行います。アバットメントはインプラントにスクリュー固定しますが、補綴物はアバットメントにセメント固定します。容易に取り外しができるように仮着用セメントの使用が推奨されています。

注意事項：ジルコニア製およびアルミナ製のノーベルプロセラクラウンやノーベルプロセラブリッジには仮着用セメントを使用しないでください。

スクリュー固定

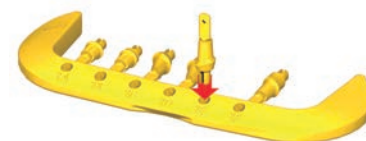
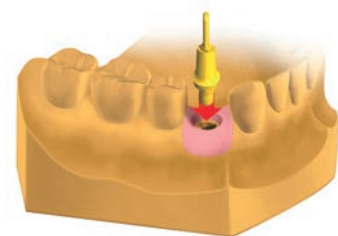
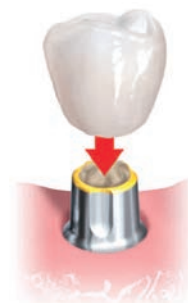
スクリュー固定による修復は、補綴物の咬合面または基底結節部位を通して挿入されるスクリューによって固定されます。スクリューはクラウンを通過して、アバットメントに固定されます。術者可撤式です。

トライイン・アバットメント

インターナルまたはエクスターナル・コネクションに使用可能なプラスチック製のトライイン・アバットメントによって、アバットメントを容易に選択することができます。適切な形状やサイズのアバットメントを容易に選択できるよう、インプラント（口腔内）またはインプラント・レプリカ（歯科技工所）への装着を目的としています。

トライイン・アバットメントはスナッピー・アバットメント、ストレートおよび角度付きエステティック・アバットメント、ストレートおよび角度付きマルチユニット・アバットメント用があります。トライイン・アバットメントには歯肉計測用ツールが付いています。

トライイン・アバットメントは滅菌可能であり、再利用頂けます。部分欠損または無歯顎の症例に使用できます。



上部構造作製手順

印象タイプの特定

インプラントの印象方法では、従来のクラウン/ブリッジ型の印象や、インプラントまたはアバットメントレベルで採得される「クローズ」または「オープン」トレー印象など、さまざまな印象法があります。

これらの印象法や、歯肉付きの正確な主模型を作製するために使用されるコンポーネントおよび材料について習得することが重要です。最初のステップは、技工所に送られてくる印象のタイプを特定することです。2つ目のステップは、印象に石膏注入する前に必要な製品を装着することです。

インプラントレベルの印象

症例に適したアバットメントを選択できるように、インプラントの位置を患者の口腔内から主模型にトランスファーします。

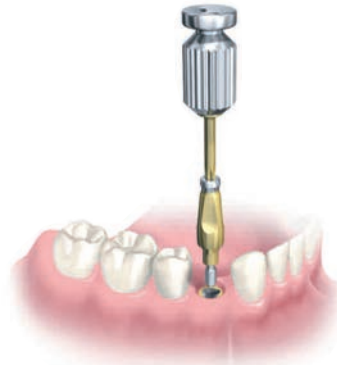
アバットメントレベルの印象

歯科医師により事前に選択されたアバットメントがインプラントに装着され、固定されます。適切なアバットメントレベルの印象用コーピングを使って、アバットメントの位置と形態を患者の口腔内から主模型にトランスファーします。補綴物をアバットメント上部に適合するように作製します。

従来のクラウン/ブリッジ型の印象

この印象法は、1ピース型インプラントが埋入される場合、あるいはセメント固定のクラウンやブリッジが選択され、歯科医師により修正された場合に用います。

アバットメントをインプラントに装着し、天然歯のように形成することができます。アバットメントの印象を採得し、アバットメント・マーゲンを確保します（歯肉圧排コードを使うこともできます）。印象は標準的なクラウン/ブリッジ型の印象として扱います。すなわち、石膏を注入し、支台模型を作製します。



リプレイス・インプラント レベルの印象用
コーピング・クローズトレー用



印象用コーピング・クローズトレー・
マルチユニット用

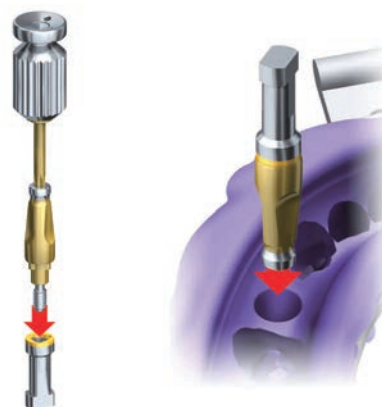


ノーベルダイレクト・グルービー
インプラント

クローズトレイ法

この印象法は、複数歯の場合、インプラントが平行に埋入されている場合に限りです。

- 技工所は印象と印象用コーピングの両方を受け取ります。
- 対応するインプラントまたはアバットメント・レプリカを印象用コーピングに連結し、連結したものを印象内に戻して再配置します。
- 印象に軟組織材料および石膏を注入します。

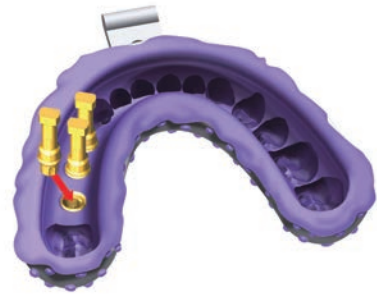


製品リスト	エクスターナル・コネクション	インターナル・トライ-チャンネル・コネクション	インターナル・コニカル・コネクション
インプラントレベル 印象用コーピング クローズトレイ用			
インプラントレベル 印象用コーピング クローズトレイ用 ロープロファイル			
インプラントレベル 印象用コーピング クローズトレイ用 プラスチック			
インプラントレベル 印象用コーピングバー			
インプラント・レプリカ			

製品リスト	エクスターナル・コネクション インターナル・トライ-チャンネル・コネクション インターナル・コニカル・コネクション
印象用コーピング クローズトレイ マルチユニット用	
印象用コーピングバー クローズトレイ マルチユニット用	
アバットメント・レプリカ マルチユニット用	

スナッピー・アバットメントの印象

スナッピー・アバットメント4.0/5.5用の印象用コーピングは印象にピックアップされます。印象は、インプラントに装着したスナッピー・アバットメントの形態を記録します。印象用コーピングには一体化したプラスチック製のフィンガーがあり、アバットメント・レプリカに適合します。スナッピー・アバットメント用のアバットメント・レプリカを装着します。印象に軟組織材料と石膏を注入します。



スナッピー・アバットメント用の印象用コーピング/アバットメントレプリカ



印象用コーピング・スナッピー・アバットメント用

ボールアバットメントの印象

ボールアバットメントの印象を直接採得します。ボールアバットメント用のアバットメント・レプリカが必要です。



ボールアバットメントの印象



アバットメント・レプリカ・ボールアバットメント用

オープントレー法

「ピックアップ」法としても知られるこの印象法は、埋入されたインプラントの平行性が欠如しており、クローズドトレー法ではトレーの除去が難しい場合に適しています。制限事項は、垂直方向のスペースが限られている場合です。

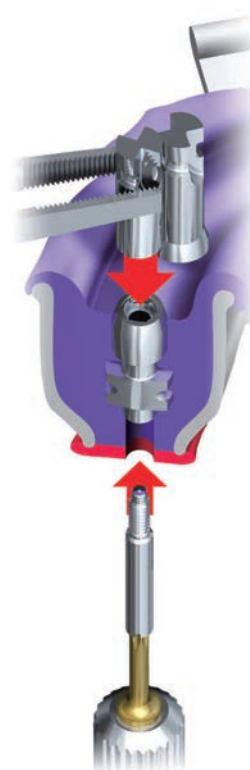
- 技工所は、印象用コーピングが装着された状態で印象を受け取ります。

注意事項：印象から印象用コーピングを取り外さないでください。

- ガイドピンを使用して、対応するインプラント・レプリカまたはアバットメントをコーピングに固定します。

注意事項：印象用コーピングに力がかかり、基準点からずれないように、ガイドピンを締め付ける際にはレプリカをしっかりと握ってください。ガイドピンを締め付け過ぎないようにしてください。

- 印象に軟組織材料および石膏を注入します。



製品リスト	エクスターナル・コネクション	インターナル・トライチャンネル・コネクション	インターナル・コニカル・コネクション
インプラントレベル 印象用コーピング オープントレー用			 ブリッジ用
インプラント・レプリカ			
印象用コーピング マルチユニット用 オープントレー			
アバットメント・レプリカ マルチユニット用			

軟組織材料の使用

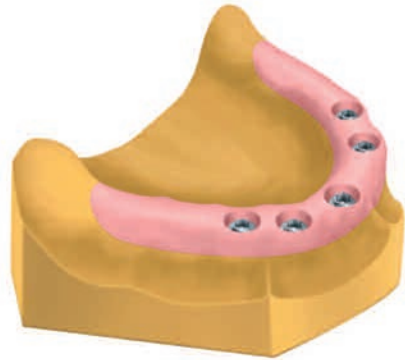
軟組織材料は、臨床的な軟組織のカントゥアのシミュレーションに使用します。

材料は自家重合型のシリコンであり、印象に石膏を注入する前に各コーピング/レプリカの組み立てた周囲に使用します。

軟組織材料は、縁下に配置されたレプリカへのさまざまなアバットメントの装着を容易にします。また、軟組織のカントゥアを傷つけることなく、補綴物のエマーゼンス・プロファイルの形成を容易にします。

レプリカにアバットメントが完全に装着されていることを確認するために、軟組織材料を石膏模型から取り除くこともできます。

注意事項：フルアーチ・クラウン/ブリッジの場合、軟組織材料を顎堤全体に使用することができます。粘膜支持型オーバーデンチャーでは、軟組織材料をインプラント/アバットメント・レプリカの周囲のみお使いください。



インプラント・レプリカの周囲に軟組織材料を使用した模型

補綴用インスツルメントおよびドライバー選択ガイド

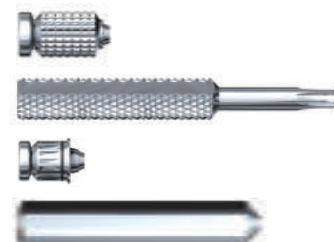
補綴用インスツルメント

ハンドル・マシンインスツルメント用 (No.29161)

アクチベーター・ドライバー・ゴールドキャップ・ボールアバットメント用 (No.29163)

補綴用トルクレンチ・アダプター (No.29167)

プロテクション・アナログ用ハンドル (No.29122)



ドライバー選択ガイド

<p>アバットメント</p> <p>角度付き マルチ ユニット</p> <p>テンポラリー・ アバット メント</p> <p>4 スナッピー・ アバット メント4.0</p> <p>5- スナッピー・ アバット メント5.5</p> <p>ストレート/角度付き エステティック・アバット メント、チタン製</p> <p>プロセラ エステティック アバットメント</p> <p>ゴールドアダプト</p> <p>ゴールドシリン ダーバー</p>	<p>ドライバー・ユニグリップ</p> <p>手用20 mm (No.29148)</p> <p>手用28 mm (No.29149)</p> <p>手用36 mm (No.29150)</p> <p>マシン用20 mm (No.29151)</p> <p>マシン用25 mm (No.29152)</p> <p>マシン用30 mm (No.29153)</p> <p>マシン用35 mm (No.29154)</p> <p>技工所での使用に推奨： 手用36 mm マシン用35 mm</p>
<p>ガイドピン</p> <p>マルチユニット</p> <p>インプラントレベル</p>	<p>ドライバー・マルチユニット用</p> <p>手用25 mm (No.29156)</p> <p>マシン用21 mm (No.29158)</p> <p>ブローネマルクシステム・マルチユニットWPには、手用25mm (No.29157)、 マシン用20mm (No.29159)をご使用ください。</p>
<p>補綴用スクリュー</p> <p>マルチユニット</p> <p>技工用スクリュー</p> <p>マルチユ ニット</p> <p>マルチユニッ ト角度付</p> <p>インプラ ントレベル</p>	
<p>マルチユニット・アバットメント</p>	

トルクガイド

<ul style="list-style-type: none"> • プラスチック製テンポラリー・アバットメント • プラスチック製テンポラリー・シリンダー • ヒーリング・アバットメント • ヒーリングキャップ 		<p>マニュアル</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 補綴用スクリュー 		 <p>15 Ncm</p>
<ul style="list-style-type: none"> • ボールアバットメント • マルチユニット・アバットメント17° • マルチユニット・アバットメント30° • ノーベルアクティブ3.0用アバットメント 		 <p>35 Ncm</p>
<p>その他、全てのアバットメント</p>		 <p>35 Ncm</p>



ノーベルバイオケア オンラインストア

Designed for you.



NEW

より手軽に、パーソナルに—

ノーベルバイオケアのオンラインストアが新しくなりました。
使い慣れた通販サイトの感覚で、お手間なくご注文できます。

ご注文は
24時間いつでも

土日・祝日や夜間も受付
スマホやタブレットからも

検索は入力は
シンプル

カテゴリやキーワードから
簡単に製品を検索

ご自身用に
カスタマイズ

いつも使う製品のリストや
注文履歴ですぐにオーダー

クレジットカードでのお支払いが可能です



<https://store.nobelbiocare.jp>

ノーベルバイオケア オンライン

検索



患者様の治療の理解と安心のために

ノーベルバイオケア Patient Card

患者様向けノーベルバイオケア製品専用
治療記録カード



ノーベルバイオケア製品で治療された患者様に
Patient Card (ペイシェントカード: 患者カード) をご提供ください。
カードに貼付されているロット番号を患者様がウェブサイトに入力することで、
治療にノーベルバイオケア製品が使用されていることを、
ご自身でご確認いただけます。



認証システムはこちらから



www.nobelbiocare.co.jp/certify/
(PC/Mobile共通)

注意: 本カードは「治療記録カード」であり、ノーベルバイオケアが医療機関や患者様に対して、製品や治療内容等を保証するものではありません。

お客様へのご案内とお願い

■ ご注文に関するお願い

ご注文はお電話にて受付いたしております。

電話番号はフリーダイヤル 0120-147-118

次の通りご準備の上、お電話ください。

1. お客様のお名前と**顧客番号**
2. ご注文商品の**製品番号**と製品名／ご注文個数
3. ご希望納品日

※ご注文はFAXでも受付いたしております。(FAX フリーダイヤル0120-726-118)

お電話またはFAXによるご注文の受付、発送、お届けについて

当社受付	発送	お届け
9:00～17:00	当日出荷	翌日中（地域によっては翌々日中）
～ 誠に勝手ながら、土曜・日曜・祝日はお休みさせていただいております ～		

■ お支払いに関するお願い

お支払いは当月末締め翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。お客様の銀行振込受取書の領収印をもちまして、当社領収書の代わりとさせていただきます。

■ お振込みは下記口座へお願いいたします ■

- 三菱東京UFJ銀行 新橋支店 普通預金 No. 3295613
口座名 ノーベルバイオケアジャパン株式会社
- みずほ銀行 品川支店 当座預金 No. 0103895
口座名 ノーベルバイオケアジャパン株式会社

オンラインでご注文

ノーベルバイオケアのオンラインストアから
インプラントおよび関連製品を幅広いラインナップより
24時間いつでもご注文いただけます。
(発送手続きは営業時間内)

<https://store.nobelbiocare.com/jp>

お電話またはファックスにてご注文

カスタマーサービスにお電話をいただくか、
またはファックスにてご注文いただけます。

製品保証プログラム

ノーベルバイオケアでは、製品の保証プログラムを
適用しております。詳細につきましては、
弊社までお問い合わせください。

www.nobelbiocare.com

19966G JP 1411 Printed in Japan © Nobel Biocare Services AG, 2021. All rights reserved.

ノーベルバイオケア、ノーベルバイオケアのロゴ、および本書で使用されている他のすべての商標は、別途記載されていない限り、
また文脈から明白である場合を除き、ノーベルバイオケアの商標です。このパンフレット内の製品画像は、必ずしも縮尺通りではありません。

 Nobel
Biocare™